

海外LPガス情報の紹介

(No. 139 平成18年12月&19年1月号)

財団法人 エルピーガス振興センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目19-5
虎ノ門一丁目森ビル
(電話:03-3507-0041 Fax:03-3507-0048)
E-mail: info@lpgc.or.jp
HP URL: <http://www.lpgc.or.jp>
(「海外LPガス情報の紹介」のバックナンバーも掲載)

① 《各市場のトピックス》

(1)カーゴ・トレードの流れ

(12月市況):

西東LPGトレード

中東のスポット物LPGカーゴが不足したためとズエズ以東の輸入価格が相対的に高かったため西から東向けLPGのアービトラージ取引の可能性が開かれた。この可能性にはナイジェリアのカーゴと12月末の北海カーゴの可能性が含まれる。しかしながら12月中旬までにそれほどアービトラージが効かなかったため、実際にそのような方向に取引が進展するかどうかは定かではなかった。

(1月市況):

中東のスポット玉は殆どでなかった。スエズ以西においては月中の温暖な気候のためLPGのタンクは満タン状態であった。北海の需給は北西欧の需要対比余剰状態で域外への輸送の動きがあった。欧州から2カーゴが東に向かい、米ガルフからの東への動きも散見された。さらに12月末のナイジェリア出しカーゴが東に向けられた。

(2) アジア大洋州・中東・中央アジア地域

1. 中国:

中国のLPG需要は旧正月後減少すると予測されている。2月カーゴの買いはあるものの固定価格では無く主にFEI(ファーイーストインデックス)ベースである。BP ZhuhaiのZhuhaiにある岩盤貯槽が竣工した。製油所もののLPGが中国南部市場に出回った。増加分は茂名製油所からのものである。Sinopecは12月末にGuangzhouの315,000b/d製油所の30%拡張を実施したが、製油所の原油処理量が低下しているため市場には出ていない。

2. サウジアラビア:

サウジアラビアの原油生産削減によってLPGのスポット玉に影響が出た。当分、12月はスポットのプロパン玉が払底した様に見えた。しかしながら12月後半積みのヤンブーのカーゴが販売された、又1月のスポット玉もあるようだ。しかしブタンは全てインド向けに販売コミットされた様だ。ラスタヌラ出しのLPG輸出玉は2005年比、2006年はやや減少となるようだ。しかしヤンブーの方はやや増加した様だ。ヤンブー出しは東向けが減少し西向けが増加する傾向にある。12月のヤンブーカーゴはメキシコと豪州に向けられた。

3. カタール:

Ras Laffan出しのLPG供給が1月も制限された。これは既存のRasGas LNGトレイン及び新規のトレイン5に関する操業上の問題発生による。Dolphinプロジェクトの立ち上がりも更に遅延するかも知れないとの情報がある。

4. オマーン:

2006年中盤に操業開始した85,000b/dのSohar製油所は25%の能力拡張工事を行っており、2007年4月に完成する予定である。これによってVitol社がこのプラントから船積みしている小ロットのLPG輸出量が増加する見込みである。

(3) 欧州アフリカ地域

1. アルジェリア:

アルジェリアの2006年におけるベチウア積み大型カーゴの輸出量は640万トント2005年をやや下回った。しかしながらLPGの輸出は、新たなガス液が南部のフィールドからの産出が開始され始めたため、2006年においては増加傾向であった。

東地中海向けは2005年と比べ減少した。ひとつの要素はエジプト向けLPG輸入の共同事業体の解消によるものであった。2つ目の理由はトルコ向けLPGの長期契約量の減少であった。加えてアルジェリアのLPGは中東のLPGによる東側における競争が激化したことである。

地中海西部向けのLPG販売もまた、西アフリカカーゴの流入増によって幾分減少した。そして余分なアルジェリアカーゴは米国もしくは北西欧向けに流れた。合計で約80万トンのLPGが2006年に北西欧に向かったが、2005年には25万トント2004年には4万トントであった。

新たに取り入れられたものといえば、年初とその後発表されたスポットの入札であった。ソナトラックによる2006年のLPGの船積みはVLGC3隻(社船2隻と傭船1隻)およびすべて社船の3隻のLGCおよび傭船ベースの半冷凍船であった。

コースタル船のトレードに関しては、ソナトラックはアルジェリア国内需用に同国沿岸向けにも

船積みした。

2. シェル:

シェルは 2004 年にグループのビジネスの再構築の一環として LPG の下流事業を売却する計画を発表した。買入れオファーが集まり、業界は注視し続けた。事業試算の一部(ブラジル、カリブ海、及びポルトガル)は断片的に売却された。しかしながら 2006 年 3 月にシェルは、全体については売却しないことを決めた。ここに至ってシェルは中欧の LPG 事業をパッケージで売りに出そうとしているようである。その内訳は下記である:

- ・ ルーマニア(年間販売量 12 万ト)
- ・ ブルガリア(年間 3 万ト)
- ・ チェコ共和国(年間 1 万ト)
- ・ ハンガリー(年間 3 万ト)
- ・ ポーランド(年間 13 万ト)

シェルによるとパッケージの事業価値は 4 億 6 千万ドルあるという。

(4)北米・中南米地域

《北米》

1. 原油:

原油価格(WTI)は今年に入り、北米の暖冬などをきっかけに急落して始まった。ニューヨーク商業取引所(NYMEX)原油先物相場に於いて、1月中旬には一時 50 ドル台近辺まで下落した後、米国エネルギー省が取り崩していた戦略石油備蓄在庫の補填計画を受けて、55 ドル台に反発した。また暖房油の主要消費地である米国北東部を含め、太平洋岸の温暖な南カリフォルニアに至るまで冷え込みが厳しくなり、需要増が見込まれことも相場を支えている。

1 月末にはサウジアラビアが 2 月 1 日から原油生産を日量約 16 万バレルの減産を始めると米紙が報じ、需給逼迫の観測と米国中西部の気温低下も伴い約 3 週間ぶりに 57 ドル台に戻した。北半球の暖房需要の後半の状況、特に北米の気温や産油国の動静等の要素により原油相場が下支えされる構図は変わらない。

2. 在庫:

米国暖房需要期の開始時期の昨年 10 月の気温は通年よりやや低かったが、11 月、12 月は全米の多くの地域で平均気温を上回った。温暖化による暖房用需要の減退によりプロパンの出荷は停滞し、2006 年末までプロパン在庫積み上げは進み、例年平均以上の水準であった。

1 月に入り、1 月 24 日発表の EIA による米国のプロパン在庫は、直近の寒波により前週比 400 万バレル減少し、2006—2007 年 10 月-3 月の暖房需要期中で週間では最大の在庫引き出しを記録した。過去 3 週間の全米のプロパン供給は 1 月の過去 5 年平均の約 60%で、830 万バレルも減少している。1 月 19 日の全米在庫は約 5360 万バレルと推定され、昨年同時期に比べわずか 120 万バレル上回る状況であった。しかしながら在庫量自体は過去 5 年平均を遙かに上回っている。地域別では、東海岸のみ僅かな減少といえる 10 万バレルの在庫出荷に留まったが、湾岸、中西部は各々 230 万、140 万バレルと大幅な在庫出荷が見られた。ロッキー山脈と西海岸地域の合計在庫は先週比 20 万バレル減少し、同地域にとってこの比較的大きな在庫減少の背景には

南カリフォルニアの柑橘栽培農家が低温によりプロパン消費量を拡大したことが挙げられる。

プロピレンと非燃料用在庫は先週比 20 万バレルと少量の減少で、全在庫に占める割合は先週の 5.9%から僅かに高まり 6.0%であった。

3. 価格:

EIA の週報によると、プロパン価格は家庭用は先週比僅かに上昇し、1 月 22 日現在で米ガロン当たり 199.3 セントになった。昨年同時期に比べ 1.9 セント低い。卸売価格は 88.4 セントで前週比 1.5 セント上昇した。昨年同時期に比べ 14.9 セント低い。

4. 輸入:

2006 年の米国の海上輸入量は年末に向け減少し、少なくともこの傾向は新年に入り 1 月、2 月も続きそうだ。昨年の実績を参考とするならば、月間 600 万バレルの輸入量が「標準」となるのは 3 月以降であろう。湾岸地域の輸入能力増強計画が懸案になっているが、米国向け輸出が経済性を持つ時期には、増強により更に多量の国際市場からの輸入玉の吸収が可能となろう。

東海岸の輸入基地では需要減退により荷下ろしの遅延も発生したとの報告もある。既に需要期の後半に入っているが、最近の寒波が米国東側の需要増加により在庫が減少すれば、恐らくスポットベースでの海上輸入玉の手配が進むかもしれない。

概して、米国の海上輸入量は 2005 年に比べ 2006 年は減少したが、2007 年が海上輸入量の記録を更新する可能性は充分あり得る。背景には世界のガス随伴の供給の伸び率が需要増加率より大きく、国際市場の行き場のない余剰玉を世界最大の貯蔵能力を持つモントベルビュー、湾岸地域で多量に吸収する状況もあるからである。

《中南米》

1. メキシコ:

冬季需要によって PMI によるパハリス向けプロパンの輸入が増加した。11-12 月受け渡しで合計 15 万に達し、内訳はサウジカーゴが 2 つ、アルジェリアが 2 カーゴであった。

2. ブラジル:

LPG 需要は近年横ばい推移となっている。ブラジル国内ガスプラント及び製油所生産量が今年は減少したため通年ベースで LPG の輸入が増加した。2006 年の輸入は約 75 万トに達している。ペトロプラス社は今年はアルゼンチンの自社権益分を米ガルフや東向けに仕向ける量を減らし、ブラジル向けを増やし、システム外からのネット輸入玉購入が増加した訳ではない。

3. ベネズエラ:

同国の LPG 輸出量は 2005 年対比増加し、2006 年は 110 万トに達した。主として増加したのは夏季であり、エル・タブロソのクラッカーが定期修理で停止していたためである。

③ LPGタンカーの運賃動向：2006年12 & 2007年1月

【長期傭船費(12か月、冷凍船)(単位:千ドル/月)】

	11月末	12月末	1月末
75,000 - 78,000 m ³ 船(新型)	1,100	950	950
75,000 - 78,000 m ³ 船(旧型)	750	600	600
15,000 m ³ 船	750	750	750

【スポット運賃、\$/トン】(75,000-54,000 m³船型中心)

	11月	12月	1月
アラビア湾 → 極東(中国<安値>~日本<高値>)	28-30	24-29	20-25
アラビア湾 → 地中海	(28-30)	(28-30)	(26-28)
アラビア湾 → 北西ヨーロッパ	(30)	(30)	(28)
アラビア湾 → 米国(ガルフ)	(51)	(52)	(52)
アラビア湾 → インド(西岸)(20-40,000m ³)	50-55	50-55	50-55
ヤンブー(サウジ) → 極東(日本)	34	30-32	25-27
ヤンブー(サウジ) → 地中海	24-26	(24-26)	(22-24)
ヤンブー(サウジ) → 北西ヨーロッパ	(26-28)	(26-28)	(24-26)
ヤンブー(サウジ) → ブラジル	(38)	(38)	(35)
ヤンブー(サウジ) → 米国(ガルフ)	(50)	(50)	(43)
アルジェリア → 地中海(仏・西)	20-25	20-25	18-24
アルジェリア → 北西ヨーロッパ	(27-30)	(20-27)	(20-27)
アルジェリア → 米国(ガルフ)	29	(27-30)	(26-29)
アルジェリア → メキシコ	-	-	-
アルジェリア → 極東(中国~日本)	(48-50)	48-50	(46-48)
北海 → 極東(中国~日本)	(58)	58	58
北海 → 米国(ガルフ)	(50-54)	(46-50)	(41-45)
北海 → 北西ヨーロッパ	(25)	20-25	(20)
ナイジェリア → 極東(中国~日本)	-	-	-
ナイジェリア → 米国(ガルフ)	45-48	40-43	35-38
米国(ガルフ) → 極東(パナマ経由)	(59)	57	57
オーストラリア(南東部) → 極東(中国~日本)	30-32	27-30	26-29
ベネズエラ → 米国(ガルフ・東部)	27	25	25

【注:()内の数字はノミナル・レート(理論値)】

④ LPG価格動向(2006.12月&2007.1月)

スエズ以東	2006.12月(\$/トン)	2007.1月(\$/トン)	2007.2月(\$/トン)
プロパン:サウジアラムコ CP	480	545	526
ブタン :サウジアラムコ CP	495	550	526

欧州:プロパンスワップ先物市場価格(\$/トン、CFR 北西ヨーロッパ)

11月下旬時点: 1月:523-529, 2月:522-526

12月下旬時点: 2月:527-532, 3月:500-505

1月下旬時点: 3月:477-483, 4月:447-453

米州:モントベルビュー・スポット価格(セント/ガロン、カック内\$/mt 概数)

	11月後半	12月後半	1月後半
プロパン:	98(511)	96(500)	91(474)
ブタン:	113(511)	112(506)	109(568)
エタン:	60(440)	64(469)	55(403)

(換算係数¢/ガロン→\$/mt: プロパン5.213, ブタン4.520, エタン7.338)

【契約価格 FOB、\$/トン】

	プロパン			ブタン		
	11月	12月	1月	11月	12月	1月
サウジアラビア(CP)	450	480	545	470	495	550
北海(BPAP)orANSI	445	480.5	504	500	470	441.5
アルジェリア	448	487	500	469	485	485

(注)尚 BPAP は 10 月度から ANSI(Argus North Sea Index)を採用することに決定。

【月平均スポット価格 CFR、\$/トン】

	プロパン			ブタン		
	11月	12月	1月	11月	12月	1月
日本	503	562	526	516	563	524
ヨーロッパ(北西部)	486	516	487	494	497	459
米国(ガルフ)	490	496	458	481	487	469
中国(南部)	501	560	523	513	561	521

⑤ 海外・日本のLPG関連イベント(会議・展示会)

イベント名	場所	日付	主催者
LP ガス国際セミナー2007	東京	2007年2月22-23日	エルピーガス振興センター
LPG2007 Conference & Exhibition	豪州クイーンズランド (サーファース・パラダイス)	2007年2月28日-3月2日	Australian LPG Association
Purvin & Gertz Inc. U.S.LPG Seminar	Houston	2007年3月5-8日	Purvin & Gertz
中国 LPG Conference	中国,昆明(Kunming)	2007年3月12-14日	広東油気商会
AEGPL(欧州 LP ガス協会 年次フォーラム・総会)	Nice, France	2007年6月6-8日	AEGPL (欧州 LP ガス協会)
20 th WLP Gas Forum・総会	Capetown, South Africa	2007年10月24-26日	WLPGA(世界 LP ガス協会)

財団法人 エルピーガス振興センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目19番5号 虎ノ門一丁目森ビル



(注：尚 2006年4月号以降、郵送は都合により取りやめ、弊振興センターのHPへの掲載のみとなりましたこと、ご了承願います。)